

MATSUYAMA



ROTARY CLUB

MONTHLY

2014

12

松山ロータリークラブ

事務局 松山市一番町 4-1-5 一誠ビル7F TEL(089)932-4426 会長 泉川孝三 幹事 高橋伸定



2014～2015年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーに 輝きを

2014～2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリー C. K. ホアン

例会予定

- 1月6日(火)…「年男は語る」
1月13日(火)…「大人の食育」
～あなたの元気の素って何ですか?～
ゲスト…シンセイフードサービス(株)
相談役 管理栄養士
古本 峰子氏
1月20日(火)…中間クラブ協議会
1月27日(火)…中間クラブ協議会

巻頭メッセージ

S.A.A.

S.A.A. 清 田 明 弘

会長職を退き、S.A.A.となって非常に気が楽になりました。しかしS.A.A.として着席する場所は指定されており、皆様とゆっくりお話する機会はもう少し先になりますが、折角の貴重な時間を有意義に過ごしていただく為に、先輩方が築いてくださった現在の雰囲気大切にしていきたいと思っております。

私が会長の時に、当時副会長の泉川現会長に会長代理を何度もお引き受けいただき、更に途中の早退も何度かあり、閉会時にも会長代理をお願いし、非常に恐縮して居りますし、その分、S.A.A.として、泉川会長を支えていかなければならないと思っております。例会もスムーズに進行しており、S.A.A.の出番は今のところ、クールビズの期間を指定したくらいで、あとは会長幹事の進行を見守るばかりです。

会長挨拶が私と比較し、非常に短い時間で済んでおり、会員の皆様が食事を摂りながら会話を楽しんでいただけることを、なにか新鮮な気持ちでおります。会長には、会員皆様、人の話を聞き取りづらい年齢に差し掛かっており、会長挨拶はゆっくりとした語り口にしてもらいました。また、年度も後半にはいり、もう少し時間をかけて話をさせていただくことをお願いしました。

会員の皆様には、会長の挨拶はじっくりと聞いていただき、その後の食事を摂りながらの会話を楽しんでいただくことを希望しております。今年度の後半は一層充実した会になるようにS.A.A.も頑張りたいと思います。

例会記録

第3234回例会 2014年12月2日（火）

一年次総会：次年度役員選出－

出席会員 73（66）名中50名 出席率71.43%
前回訂正出席率75.34%

欠席会員 23名 林、星野、市川、伊藤（慎）、
菊池、御木、村上、長尾、西野、大塚、大
橋、小野、佐野、左納、白石（省）、田中（和）、
玉置、浦岡、山本、結城（亀井、中住、関（宏））

ニコニコ箱

西村 真也 先日の演奏会に多数のロータリア
ンの方々にお越し頂き誠に有難う
ございました。

羽牟 正一 石橋さんありがとうございました。

齋藤 明弘 山本先生、エスニックの会ありが

とうございました。
米山 徹太 西村先生、先日は素晴らしいコン
サート、お食事、ありがとうございました。

深見 邦芳 （会員誕生祝）

二神 良昌 （会員誕生祝）

泉川 孝三 （会員誕生祝）

村井 重美 （会員誕生祝）

野村 靖記 （会員誕生祝）（ご夫人誕生祝）

濱本 道夫 （ご夫人誕生祝）

佐々木 淳 （結婚記念祝）（創業記念祝）

白石 恒二 （結婚記念祝）12月24日

（なんとなくニコニコ）五味、高石、鶴田

早 退 土居、原田（達）、清田、関（啓）

第3235回例会 2014年12月9日（火）

出席会員 73（66）名中55名 出席率75.34%
前回訂正出席率78.08%

欠席会員 18名 土居、五味、羽牟、原田（満）、
星野、市川、御木、三原、村上、中地、大塚、
大橋、佐々木、佐野、左納、白石（省）、
玉置、浦岡

ニコニコ箱

河内 広志 本日の卓話担当を努めさせていた
だきます。

飯尾 寛治 河内さん卓話期待します。

貴船 正憲 河内さん卓話ががんばって下さい。

伊東 毅嗣 河内さん卓話楽しみにしております。

西野 佳和 河内さん卓話楽しみにしております。

菅井 久勝 河内さん卓話楽しみにしております。

米山 徹太 河内さん卓話楽しみにしております

す。
亀井 義弘 久しぶりに松山に帰って参りました。ふるさとはいいです。日本では松山が一番です！

棟方 信彦 メリークリスマス！今年もお世話になりました。

永木 昭彦 今年もお世話になりました。来年もよろしくお願いします。

田中 和彦 ラジオFM局が12月1日から松山でスタートしました。よろしくお願いします。

齋藤 明弘 年末ジャンボよろしくお願いします。

浜田 修一 そこにツルタさんがいたので！

清田 明弘 （結婚記念祝）

（なんとなくニコニコ）鶴田

早 退 長尾（河内さんお話聞けません。申し訳ありません）、関（啓）、田中（昌）

卓 話 『道後オンセナート2014』について
河内 広志 会員

日本最古といわれる道後温泉、そのシンボルでもある国の重要文化財「道後温泉本館」は、2014年に120周年の大還暦を迎えた。これは、道後湯之町初代町長の伊佐庭如矢が百年先の道後の発展を願い建設したもので、現在、年間約70万人もの入浴客が訪れている。

それを記念して、「温泉」と「現代アート」を融合させたアートフェスティバルが『道後オンセナート2014』で、平成26年4月から年末にかけて約1年間にわたり道後温泉街がアートで彩られた。

その作品概要は、大還暦を迎える本館の各階から滝のような霧が流れ出し、外観を幻想的に演出する作品を筆頭に、「1000年後の道後温泉」を題材とした影絵作品などを分散して配置し、作品を巡ることでまち歩きが楽しくなるような仕掛けを行った。そのほか、地域の小中学校の児童生徒とアーティスト達が共同して制作

するパレード的なパフォーマンス作品「アートパレード」や、「地元プロジェクト」を展開し、地域参加型のプロジェクトを展開した。

その中でも、特に9軒のホテルが参加した「HOTEL HORIZONTAL」は、草間彌生さんや荒木経惟さん、谷尻誠さんなど国内外でも著名なアーティストが参加し話題となった。この作品は、「最も深い夢」をテーマに、アーティストが各ホテルの1室を宿泊できるアート作品に手掛けるもので、昼間限定で見学も行った。なお、9軒のうち6軒は、会期終了後も引き続き、宿泊・見学が楽しめる。

※詳しくは、「HOTEL HORIZONTAL」HP (<http://www.hotelhorizontal-dogo.com>) をご覧ください。

先般、ニューヨークタイムズ紙が作成した「2015年世界で行くべき街52選」の中で日本では唯一「四国」が取り上げられた。温泉だけではない新たな魅力を取り入れ、いつ来ても楽しい道後温泉を発信していきたい。



例会記録

第3236回例会 2014年12月16日（火）

ークリスマス忘年家族例会ー

於：伊予鉄高島屋 9 階「ローズホール」

出席会員 73（66）名中45名 出席率63.28%

前回訂正出席率68.49%

欠席会員 28名 土居、二神、五味、浜田、羽

牟、原田（達）、原田（雅）、原田（満）、星野、市川、伊藤（慎）、貴船、河内、兒玉、御木、棟方、村上、永木、大塚、左納、下田、高石、田中（和）、鶴田、渡部、安永（深見、田代）

ご家族 29名



理事会報告

平成26年12月度理事会決議事項

12月 2 日(火)

- ① セキ(株)より、依頼の件 承認。
- ② ボーイスカウト松山振興会会費について承認。

12月のお祝い

- 誕生祝** 以下 6 名 亀井（12日）、二神（14日）、
泉川（20日）、野村（23日）、福田（25日）、
深見（28日）
- 結婚祝** 以下 6 名 白石（省）（5日）、浦岡（9日）、
清田（15日）、菊池（21日）、佐々木（22日）、
白石（恒）（24日）
- 創業祝** 以下 7 名 結城（8日）、羽牟（10日）、
濱本（20日）、星野（20日）、中地（25日）、
佐々木（28日）、田代

配 付 物

1. ガバナー月信
1. 平成27年度役員名簿(案)

会員だより

「ロータリーから見た一般社会（仮題）」

東京東ロータリークラブ 神守源一郎 氏
《職業奉仕とロータリーより》

利己心（セルフ）に始まった人類の進化発展の歴史を振り返ると、人類は最初森林の中などで狩りをして食物を求めていたが、知らない人間同士がぶつかったら殺し合いをしていた。相手を殺さなければ自分が殺されると考え、どうしても相手を殺さなければならなかったからであろうが、その時代はロータリー的に言えばセルフ“self”の時代、つまり利己心だけの時代であった。やがて平地に定着して農作業や牧畜を営み生活が安定してくるとお互い仲良くする方がかえって自分のためになる、これはロータリー的に言えばフェロウシップ“fellowship（自他共存）”の時代、つまり仲良くしようという時代に移って来た。

ところがフェロウシップの時代を長く暮らしてみると、お互い仲良くしていくこと自体大変いいことだが、しかしこれだけでは進歩がない、一応幸福は保てるとしても積極的に世の中を改善し進歩して行くためにはお互い多少は他人の事をも考えなければ良くならないと思うようになった。話は飛躍するが車を運転する際、交通の頻繁なところで自分勝手に突っ走ってよいものか。危険だし他人に迷惑がかかる。全体のために多少とも自己の利益を犠牲にしてでも他人のことを考えるべ

きであろう。これがロータリーでいうサービス“service”の精神であると考えようになった。これがロータリークラブ創立当時のセルフからフェロウシップに移る単純な初期ロータリーの実態であった。

1900年当時のシカゴの街の社会情勢、経済事情は利己心丸出しの、自分だけが利益を得ることだけを考えていたが、これでは余りにも情けないではないかとお互い仲良くして心にゆとりを持つということとでロータリークラブが出来たが、創立当時の会員は決してエリートでも何でもなく、ロータリーの存在価値は少なかった。数年後もっと地域社会に役立つことを考えようということになり、利己心（セルフ）と利他心（サービス）の葛藤は人類永遠のテーマと考え人間の本心はやはり我が身だけが可愛い、他人のことなどかまっておれないというのが本音であって、人間は野心を伸ばしたいという利己心と高潔な利他の心が常時心の中で繰り返し葛藤を続けているわけであるが、その葛藤をいかに調和させるか、できるかが大切なのであって、まだまだセルフ丸出しの人、フェロウシップだけの人も沢山見られる中でサービス精神に徹した人は少ないといえ過ぎであろうか。この三つの型が混然と存在している世の中で、ロータリーの存在意義もここにあるとも言えるわけで、ことごとくサービス精神に徹して生活するように

クラブニュース

なればロータリーの存在などナンセンスになるのではないだろうか？ こういった世の中で少しは自分の利益を減らしても他人のためにも尽くそうと志す人が集まって社会的に組織された団体がロータリーの特徴を示している。ロータリークラブは会員の皆様方が奉仕活動がしやすいようにクラブ万端の情報を集め資料を提供して援助協力する立場にあり、ロータリークラブが会員に代って奉仕活動をするのではなく奉仕活動をしたいという人達が集まって社会的に組織され自分達が実践するのがロータリークラブである。

奉仕活動は自分がやらなければいかんのだなあと理解して下さる方が増え、日本のロータリーが本格的に進展し世界の平和に貢献できる日がくればと考えるのである。

デモクラシー精神という土壌の上にこそヒューマニズムの精神が育って行く、そしてデモクラシー、ヒューマニズムの二つの要因の整っていない処では決してロータリーは育たない、否存在しない。一体デモクラシーとは何か、これは非常に難しい問題であるが、簡単に言えばお互い自由な立場で自由に話が出来るとんな社会体制がデモクラシーではないだろうか。その証拠に共産国や独裁国にロータリークラブはなく、また育たない。一時ペレストロイカでロシアにロータリークラブが誕生したが育たなかった。以前中国にも存在したが現在はない（台湾には存在する）。ある筈がなく、これらの国には思ったことをそのまま人に話せないからである。デモクラシーの地盤のもとにしっかりした柱を打ち立てない限りロータリーは発展しない。ヒューマニズムとは何か、「汝の隣人を汝の如く愛せよ」と言う言葉が私にはピッタリ来るのだが、日本人は何にでもその転換がフレキシブルで、デモクラシーに接するとデモクラシー万歳、共産主義が来れば共産主義万歳と忽ち転換する本能があり、これも日本人の手先の器用さと精神の柔軟性は非常に結構だが、裏を返せば自主性がなくしっかりしたバックボーンを持っていない。デモクラシーの土壌も水もない砂地にヒューマニズムの柱は怪しい。日本にロータリーが発達するにはデモクラシーとヒューマニズム、この二つのことを強化する必要があると思う。

皆さんのロータリークラブではどんな気持ちでやっておられるか。また会員の皆様はどういう心構えでやっておられるか。ロータリークラブとい

うのは自分の利益を多少犠牲にしても他人のために尽くし、それで世の中をいくらかでも平和に明るくしようと尽力している人達が集まって作っているクラブである。

よく言われている有名なことばに「何故山に登るか」「そこに山があるから」というのがあるが、「あなたは奉仕の精神に富み良いことをなさるのは何故か」との質問に対して「それは私はロータリアンだから」と胸を張るのはまだ若い。さりげなく「それは私が人間だから」という境地にお互い早く達したいものである。※一般的にロータリーでは“良質な人”として「世のため人のために尽くそう」と言う気持ちを持った人達で、他人の痛みや苦しみを自分のものとして受け止めることの出来る人」として説明されている。

大阪ロータリークラブの塚本義隆パストガバナー（1974）は“サービス”という言葉の意義について、“奉仕”というのは“仕え奉る”と書き元来の意味は神社主君に仕え奉ることで、上下関係を意味している。ところがロータリーでいうサービスは多くの人間を対象にして、広く社会のために役立ちたい、つまり上下ではなく左右（水平）の関係を示すということを以前に紹介したことがあるが、ロータリーでいうサービスは他人のことを思いやる、つまり善意がこもっているか否か、ここに根本的な相違が有ると思う。ロータリーの目的は各自の職業を通じて社会の役に立つ（自己の職業そのものを奉仕と考える説明あり）ことであるとあり、商業道德の向上、その水準を引き上げる努力を要請している。“サービス”の語句について航空会社のことを“air service”というが、乗客のもっとも気になるのがパイロットの技術経験であろうが、医療の“medical service”の場合、診療に当たる医師の診療日を表示しているのに対し、最も運行に影響の大きい操縦士（機長）の技術（経験）について予め公表することはなく、運行を開始して初めて機内放送で機長名を告げるだけで、これを問題視する乗客もいない。即ち操縦士だけでなく、運行にかかわる社員すべてを信用しているわけで疑問をはさむ余地はなく、それだけ会社関係者も日頃から信用を守るため大きな努力を続けており、その努力の上に円滑に運用されているのがサービス事業ということになる。

（文責：ロータリー情報委員長 佐藤 昭美）

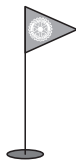
松山ロータリー・ゴルフ会 12月例会

平成26年12月21日(日)
於：道後ゴルフ倶楽部

参加者 中住会員、中住会員奥様の富美子様、関
(啓) 会員、村井会員、二神会員、中地会員、
星野会員、渡部会員 (カード参加)、米山。
そして村井会員のお知り合いの山之内様、

三宅様、濱田様、二神会員のお知り合い
の洞出様。 計13名

第346回松山ロータリークラブゴルフコンペは、
久々に3組での競技になり賑やかに楽しく開催で
きました。今後も多くの皆様の参加をお待ちして
おります。 (記・米山 徹太)



順位	氏名	OUT	IN	Total	Hdcp	Net
優勝	中住 義晴	48	42	90	22	68
準優勝	(非会員) 洞出 正敏	43	44	87	14	73
3位	中地 修	50	52	102	28	74



12月中の出席報告

例会日	区分	会員数	出席会員数	欠席会員数	当日出席率	メイクアップ数	前回訂正出席率	ビジター数
2日		73(66)	50	23	71.43%	3	75.34%	0
9日		73(66)	55	18	75.34%	2	78.08%	0
(クリスマス忘年家族例会) 16日		73(66)	45	28	63.28%	5	68.49%	0
平均		73(66)	50	23	70.02%	3.3	73.97%	0

ご意見・ご要望があればお寄せください。

ホームページ URL <http://www.matsuyama-rotary.jp/>